

「合唱活動における新型コロナウイルス感染症 拡大防止のガイドライン」を廃止します

2023年5月20日 全日本合唱連盟

「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」が、2023年5月8日で廃止されました。これを受け、「基本的対処方針」に基づき策定していた「合唱活動における新型コロナウイルス感染症拡大防止のガイドライン」を廃止します。

全日本合唱連盟は、2020年6月29日付で「ガイドライン」第1版を策定し、その後も東京都合唱連盟と共同で実施した「合唱活動における飛沫実証実験」をもとに第2版を策定するなど、その時点での最新の知見や社会情勢の変化に合わせて第4版まで更新を続けてまいりました。第1版の策定から約3年間、合唱団や学校現場はもとより合唱活動の場で幅広く感染対策の指針として活用くださったことに心より感謝申し上げます。

内閣官房新型コロナウイルス等感染症対策推進室長からの2023年4月27日付け事務連絡「基本的対処方針に基づくイベントの開催制限、施設の使用制限、業種別ガイドライン等の取組みの廃止に当たっての留意事項について」に伴い、**合唱活動における感染対策も個人の判断に委ねられること**になりました。個人や合唱団がそれぞれの状況に応じて判断し活動していただきます。なお、これまでに策定した「ガイ

ドライン」や実証実験の報告書はすべて全日本合唱連盟公式ウェブサイトにてアーカイブしていますので、必要に応じてご参照ください。

また、「ガイドライン」の監修をお願いしてきた横浜市立大学附属病院感染制御部長の加藤英明先生による「感染症に配慮した合唱活動の手引き」を全日本合唱連盟ウェブサイトに掲載しています。ダウンロードもできますので、参考にしてください。

◆大会での対応

「ガイドライン」の廃止を受けて、全日本合唱連盟主催の全日本おかあさんコーラス全国大会や全日本合唱コンクール全国大会は通常開催を原則とし、感染対策としてのマスク着用や歌唱時の距離については、各個人や合唱団の判断に一任いたします。なお、開催ホールや自治体等から感染対策の指示が出された場合はその指示に従います。

また、ホール等の制約がなく通常開催する場合、コンクールで実施していた出演人数特例（出演者の入れ替えなど）や音声・動画による審査は認めず、規定通りの実施といたします。

感染に気をつけながら合唱を楽しみましょう

インフルエンザや新型コロナウイルスの感染を防ぐための一般的な対策をご案内します。感染を防ぐにはこれらを参考にしてください。

- 体調管理**
体調不良者は参加・出演を控えましょう。
- 手指消毒**
石けんによる手洗いかアルコール手指衛生剤により手指を消毒しましょう。
- 換気**
空調設備による常時換気又は窓開けによるこまめな換気を行きましょう。
- ディスタンス**
歌唱時は、適度な距離を確保しましょう。
- マスク着用**
感染対策に必要な場面ではマスクを着用し、咳エチケットを実践しましょう。

Japan Choral Association
全日本合唱連盟

感染症に配慮した合唱活動の手引き

新型コロナウイルス以外にも私たちは多くのウイルスや細菌と共存しています。感染症による体調不良やステージの欠席は避けたいもの。楽しい活動を開催するための手引きとして参考にしてください。

- 想定される感染症**
どの病原体も「かぜ」の一種ですが、喘息や腫瘍病のある方、乳幼児・高齢の方では重症化する病気で、そのような家族がいる団員などに十分配慮してあげてください。
- インフルエンザ**
冬12月から2月に流行。咳と熱、筋肉痛などが特徴。ワクチンあり。
- 新型コロナウイルス感染症**
季節性なし。熱、咳、咽頭痛など。一度感染しても3〜6ヶ月くらいすると再感染するようになる。ワクチンあり。
- かぜ症候群**
ライノウイルス、アデノウイルス、RSウイルスなどのウイルスや、百日咳菌、マイコプラズマなど細菌によるもの。ウイルスには抗生物質は効きません。
- 合唱活動での注意点**
どんな状況であれ避けたい方が多いもの ▶ 狭い密着での多人数での練習。(商品在庫で自取りなど) 集団で風邪をひきますよ…やめた方がいい！
- 体調管理**
体調の悪い人は練習／本番に参加しない
咳やくしゃみをするときは、咳エチケットを
喉や口の消毒やうがいは、ほとんど意味がありません。
体調が悪いときは、他の人につまみつきよう、ちゃんと休むことが思いやりです。
- マスク着用**
マスクを着けて練習するなら
距離の確保の制限なし
エアコンなどで施設の換気を行う
* マスクを着用していればほぼ何も制限がないと考えてください。
* マスクは不織布マスクを使ってください。
- マスクを着けずに練習するなら
距離の確保 少なくとも隣の人と1〜2mを空ける
エアコンなどで施設の換気 + 少なくとも1〜2ヶ所を常に空けて外気を入れる
* マスクを着用しない場合、十分な注意を払いましょう。
* いつもよりも広い練習会場が予約できたら、距離をとってマスクなしで練習するのもよいでしょう。その場合も外気を入れる換気が大切です。
- 備品管理**
楽譜やキーボードを共有しても構わない
ただし、くしゃみを止めた手でそのまま触るのは止めましょう。
(口で拭く、アルコールで手を消毒するなどしてから)
- キーボードや譜面台などの物品はきれいに保つ
無理に消毒する必要はありません。でも、汚れていると思ったらきれいしましょう。
消毒薬入りのウェットティッシュなどもあります。消毒薬は汚れがよく落ちますが、若干の消毒効果もあります。
- 練習後の食事会等**
体調のよい人だけで実施するのをオススメします。遅くはないお店や、席が広くとれる店を探すとよいです。あと、無理に人を誘うのはやめましょう。感染症の流行(定点報告)が悪いときは止めることも検討してくださいね。

● 監修 横浜市立大学附属病院 感染制御部 加藤英明

「合唱活動における新型コロナウイルス感染症拡大防止のガイドライン」廃止について

一般社団法人全日本合唱連盟

■「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」（以下「基本的対処方針」）は、2023年5月8日で廃止されました。このため「基本的対処方針」に基づき策定していた「合唱活動における新型コロナウイルス感染症拡大防止のガイドライン」（以下「ガイドライン」）を廃止します。

全日本合唱連盟は、2020年6月29日付けて「ガイドライン」第1版を策定しました。その後、東京都合唱連盟と共同で実施した「合唱活動における飛沫実証実験」をもとに第2版を策定するなど、その時点での最新の知見や社会情勢の変化に合わせて第4版まで更新を続けてまいりました。

第1版の策定から約3年間、合唱団や学校現場はもとより合唱活動の場で幅広く感染対策の指針として活用くださったことに心より感謝申し上げます。

■内閣官房新型コロナウイルス等感染症対策推進室長が2023年4月27日付けて「基本的対処方針に基づくイベントの開催制限、施設の使用制限、業種別ガイドライン等の取組みの廃止に当たっての留意事項について」を事務連絡したことに伴い、合唱活動における感染対策も個人の判断に委ねられることになりました。個人や合唱団がそれぞれの状況に応じて判断し活動していただきます。なお、これまでに策定した「ガイドライン」や実証実験の報告書は全て全日本合唱連盟公式ウェブサイトにアーカイブしていますので、必要に応じてご参照ください。

また、「ガイドライン」の監修をお願いしてきた横浜市立大学附属病院感染制御部長の加藤英明先生による「感染症に配慮した合唱活動の手引き」を示しますので、参考にしてください。

<連絡先>

〒104-8011

東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞東京本社内

全日本合唱連盟事務局（担当：事務局長 梅田昌和）

TEL.03-5540-7813（平日 10:00～18:00）／FAX.03-3544-1964